

令和7年度長野西高等学校入学者選抜における実施内容

- (表の見方)
- 1

「募集」欄は令和6年度(2024年度)入学者選抜の募集学級数です。令和7年度入学者選抜の募集学級数は11月に発表する予定です。
- 2

前期選抜の募集枠%の数字は募集人員の上限を表しています。
- 3

第2志望欄の○印がついている学科間においては第2志望（学校により第3志望まで）を認めます。（別紙「第2志望及び第3志望の取扱い一覧」参照）
- 4

傾斜配点欄は実施する教科および倍率です。
- 5

再募集欄は前期選抜及び後期選抜において、入学予定者数が募集定員に満たなかった場合の実施予定内容です。
- 6

｝は、くくり募集をする学科です。
- 7

〕はまとめて募集する学科ですが、出願は各学科にします。ただし、1学科の入学者数の上限は40名とします。
- 8

空欄になっている箇所については実施しません。
- 9

前期選抜及び後期選抜では学力検査を実施します。
- 10

小論文Aは与えられたテーマに関して一つの論文として答える形式、小論文Bは与えられたテーマに関して論理的に構成されたいくつかの設問に答える形式です。
- 11

再募集の志願理由書から実技検査欄については、後期選抜において実施する内容と同じかそれに準ずる場合は○印がついています。

前期選抜・後期選抜・再募集

番号	高校名	学科	募集	前期選抜（自己推薦型選抜）					後期選抜（一般選抜）							再募集					
				募集枠%	募集の観点	志願理由書	面接	作文 （小論文）	実技 検査	志願 理由書	面接 方法	面接	作文	実技 検査	傾斜 配点	第2 志望	志願 理由書	面接	作文	実技 検査	傾斜 配点
15	長野西	普通	5							紙上				○		対面					○
		国際教養	1	90	次のいずれにも該当する者 ① 学習成績が全般的に優れ、特に英語の成績が極めて高く、部活動や生徒会活動等に積極的に取り組み、入学後は高い志をもって大学進学を目指し、意欲的な学習をする者。 ② 本校の3つの方針および国際教養科の特色を理解した上で、異文化やSDGsの課題に興味関心を持ち、積極的に交流活動や探究活動に協働して取り組んでいこうとする者。	本校所定の書式に そって、志望動機・入学後の抱負・高校卒業後の進路希望・中学時代の部活動等について自己PR文を記入する。	＜個人面接＞ 英語及び日本語で個別に面接をする。	《小論文B》 用意された英文資料等に係わる総合的な質問に答えるとともに、自分の考えを論述する。 時間は30分。		紙上				○		対面					○

令和7年度長野西高等学校前期選抜における評価方法

- (表の見方)
- 1

「観点別」欄は同一学科内において「募集の観点」で示した区分や受検の型等により評価方法が異なる場合には分けて表しています。
- 2

「調査書」から「実技検査」欄の「比重」の数値は、それぞれの資料が総合判定においてどの程度重視されるのか、その目安を百分率で表しています。
評価点を示したものではなく、合計して可否を判定するわけではありません。
また、複数の選抜資料の相関関係を見ながら総合的に判定する場合は、備考欄において解説しています。
- 3

「調査書」から「実技検査」欄の「項目等」の内容は、それぞれの資料において重視する項目を表しています。
- 4

「調査書」はすべての記載内容を判定資料としますが、特に重視する項目については「項目等」欄に表記しています。
- 5

事前に提出された「志願理由書」の記載内容については、調査書及び面接の参考にします。

番号	高校名	学科	観点別	評価方法	調査書	面接	学力検査	作文(小論文)	実技検査	備考
15	長野西	国際教養		比重	40	20	10	30	-	
			項目等		学習成績を重視 英語は特に優れていることが望ましい 部活動・特別活動及び資格取得も考慮	志望動機 意欲や態度 英語を使つての表現力 等 (読む力、聞く力、話す力)		論理的思考力 情報分析能力 表現力 等 (読む力、書く力)		

令和7年度長野西高等学校入学者後期選抜における第2志望の取扱い

高 校 名	学 科		第 2 志 望 まで 可 能	第 3 志 望 まで 可 能	備 考
	志 望 区 分				
長 野 西	普 通		□		
	国 際 教 養				